

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版  
 (仮称)ヒラノテクニード木津川工場 増築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境					0.30		-	2.6
1 音環境				3.1	0.15		-	3.1
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		-		3.4	0.40		-	
1 開口部遮音性能		T-2		5.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		-		1.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-					-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-					-	
1.3 吸音		-		3.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.4	0.35		-	2.4
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温		-		3.0	0.38		-	
2 外皮性能		-		3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性		-		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		-		3.0	0.20		-	
2.3 空調方式		-		1.0	0.30		-	
3 光・視環境				2.4	0.25		-	2.4
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-	
1 昼光率		-		3.0	0.60		-	
2 方位別開口		-					-	
3 昼光利用設備		-		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				1.0	0.30		-	
1 昼光制御		-		1.0	1.00		-	
3.3 照度		-		3.0	0.15		-	
3.4 照明制御		-		3.0	0.25		-	
4 空気質環境				3.1	0.25		-	3.1
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆ 70%以上		4.0	1.00		-	
4.2 換気				2.3	0.30		-	
1 換気量		-		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		-		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		-		1.0	0.33		-	
4.3 運用管理				2.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-		1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		-		3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能				-	0.30		-	2.7
1 機能性				2.1	0.40		-	2.1
1.1 機能性・使いやすさ				1.6	0.40		-	
1 広さ・収納性		-		3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応		-		1.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		-		1.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		天井高さ=2800かつ窓の設置		4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		-		2.0	0.33		-	
3 内装計画		-		1.0	0.33		-	
1.3 維持管理				2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		-		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		-		2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.0	0.20		-	
1 空調・換気設備		-		1.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		-		2.0	0.20		-	
3 電気設備		-		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		-		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		-		1.0	0.20		-	

3	対応性・更新性		3.4	0.30		-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30		-	
	1 階高のゆとり	階高=8.15m	5.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 240.00/2028.00=0.118	4.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.40		-	2.3
1	生物環境の保全と創出	保有林の維持	3.0	0.30		-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40		-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						2.9
LR1	エネルギー			0.40			3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	[BPI][BPI <sub>m</sub> ]=0.72	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化		3.0	0.50		-	3.0
4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価						
	4.1 モニタリング		3.0				
	4.2 運用管理体制		3.0				
LR2	資源・マテリアル			0.30			2.3
1	水資源保護		2.2	0.20		-	2.2
	1.1 節水		1.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60		-	2.4
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		2.3	0.20		-	2.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.0	0.70		-	
	1 消火剤		1.0	0.33		-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		-	
	3 冷媒		2.0	0.33		-	
LR3	敷地外環境			0.30			3.0
1	地球温暖化への配慮	一般的な建築としている	3.3	0.33		-	3.3
2	地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	駐車場・バイク置場の整備及びスペースの確保	5.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		2.7	0.33		-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.33		-	
	2 振動		3.0	0.33		-	
	3 悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		2.7			-	
	3 日照障害の抑制	日影規制なし	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		1.6	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	-	2.0						○		○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		○	○				○							
1.3.2 維持管理用機能の確保	1.0						○								
2.4.1 空調・換気設備	-														
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○												
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○												
2.4.5 通信・情報設備	-														
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	9.0		2.0	2.0	2.0	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	2.0	2.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-		
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-														
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無															
2.1 材料使用量の削減	-														
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用															
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-														
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0														
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		-	-	3.0	2.0	3.0	-	-	-	-	-	-		
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-							
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-		-	-											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η)					
U値(W/m2K)	窓システム 4.0	屋根	2.0	外壁	2.0	床	2.0
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値		ηAC		ηAH	
屋光率	1.5%						
自然換気有効開口面積率	0.0%						

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	6.0㎡/人	病床	0㎡/床	シングル	0㎡ ツイン	0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	2.8 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

想定耐用年数	25年					
想定必要間隔	20年					
想定必要間隔	10年					
想定必要間隔	15年					
階高	8.15 m					
壁長さ比率	11.0%					
床荷重	2900 N/m2					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	38%	建物緑化指数	0%				
空地率	75%	水平投影面積率	25%	地表面対策面積率	75%	舗装面積率	37%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI <sub>m</sub>	0.72	断熱等性能等級	対象外 相当			
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%	
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%	

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI <sub>m</sub>	非住宅	0.89	住宅	-	太陽光	3.7kW	太陽熱等	0kW	蓄電池	0kW
----------------------	-----	------	----	---	-----	-------	------	-----	-----	-----

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%					
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-	
使用比率	0.0%					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)				
オゾン層破壊係数(ODP)	0.01	地球温暖化係数(GWP)	1430			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	4%	隣棟間隔指標Rw	0.40				
地表面対策面積率	113.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%		
見付面積S <sub>b</sub>	116㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W <sub>s</sub>	211.58 m	基準高さH <sub>b</sub>	13.5 m		
緑地	#####	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面	㎡		